

(七) 青年前衛隊組織に關する決議案

理由 我國に於ける無産者青年運動は多少の歴史を有し、漸く未だ實力ある大衆運動と
はなり得ず、觀念的左翼と非階級的右翼とよりては、小早や一步も前進し得ざる現状に置か
れて居る。而し労働階級の日常闘争は日に拡大し複雑化されつゝあり、青年労働者の勇敢に
して組織的な活動が切実に要求されてゐる。

青年前衛隊組織の必要がここに在り、その一般方針は次の如くである。

- 一 青年として経済闘争の前衛たらしめること。
- 一 党との合理的連絡により青年を政治的に訓練すること。
- 一 青年の教育を充實すること。

我が組合同盟は、極左翼と並に極右翼の誤れる方針と戦術を排撃し、日本労働組合運動の
分散的狀態を産業別並に地域的に統一する組織形態に兩組織するべき任務を以て生れた。この
任務遂行に當り青年前衛隊はその前衛となるべきものだ。

組織

- 一 本部に青年部を設置す。

(八) 全國労働組合會議提唱の件

(翼西聯合會提出)

修正可決

日本労働総聯合會を通じて実行することに修正。

△尾去沢鉱山爭議義捐金募集

尾去沢鉱山爭議團より来電あり、庶務者派遣のため寄附金募集、随出総額三
十六圓七拾六錢。結局二名の庶務者も派遣することとした。